

(学校用)

様式 A-1

平成26年10月6日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 富山県立 富山高等学校・高柳知子
2. 講師氏名: Wu Congping 博士
3. 同行者氏名: カウナン春奈 様
4. 実施日時: 平成26年10月1日 (水) 14:20 ~ 16:10
5. 参加生徒: 1年生 50人 (合計 50人)
備考:(例:理数科学科の生徒:50名)
6. 講演題目: (英文) Sustainable Energy Sustainable Low-carbon Society

---How Do We Get There?

(和文) 『持続可能なエネルギー、持続可能な低炭素社会、いかにそこにたどり着くか?』

7. 講演概要:

事前に依頼していた、自己紹介、出身国の文化や教育制度、科学者になった動機と専門分野について概要という順序で講演をしていただいた。特に、講演のメインである Sustainable Development について半分以上の時間を割いていただいた。また、それぞれの話題ごとに Q&A を入れ、理解力を高めるようにした。

8. 使用言語: 英語(80%)、日本語(20%)

9. 講演形式:

- (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 20 分
- (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
視聴覚教室にて、パワーポイントを使用しての講演
- (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
ポイント毎に難しいところを同行者により日本語でサポートいただいた。
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
プリント A4 で2枚を実施日の10日前に課題として配布し、講演数日前に回収、課題の実施状況を確認した。

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
なし

11. その他特筆すべき事項:

事前の対応を含め、とても真摯に対応していただいた。講演中も生徒に質問されたり、生徒の反応を見ながら進められたりしたのも良かった。それでも、1年生には難しい部分もあったので、同行者の日本語でのサポートが大変ありがたかった。実験装置をわざわざ持ってきていただいたのに、中国製のプラグを使用できず、使えなかったのが非常に残念だった。